

第 7 回 事務局説明資料（資料 3-2）の訂正について

正誤表

第 7 回事務局資料 13 ページ 「天然繊維の資源循環の取組の例」

（誤）

倉敷紡績株式会社では、落綿や屑綿といった未利用繊維を活用したリサイクル「L∞PLUS」を実施。

（正）

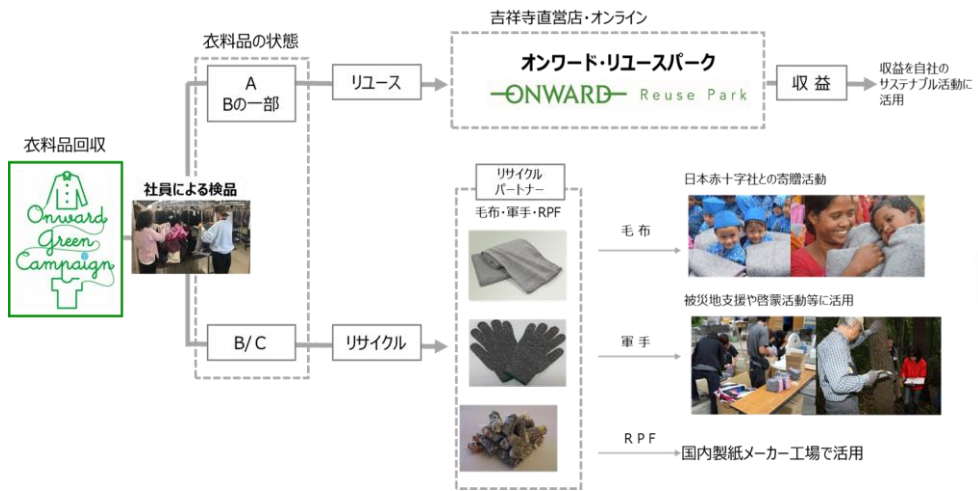
倉敷紡績株式会社では、工場内で発生する落綿や屑綿といった未利用繊維を活用したリサイクルの他に、廃棄衣料や繊維製品の端材・裁断くずを再資源化する「L∞PLUS」を実施。

我が国における繊維製品の資源循環の取組

- リユース市場は近年拡大傾向にあり、従来の「古着屋」だけでなく、国内大手のアパレル企業においても自社ブランドのリユースショップの展開が始まっている。
- 故衣料品を原材料としたリサイクルでは、裁断くず等について新たな活用方法を模索されている。

国内アパレル企業における取組の例

- 株式会社オンワード樫山では、店頭や催事等で衣料品を回収し、自社のリユース専門店での再販売や、毛布や軍手等へ再利用する「オンワード・グリーン・キャンペーン」を実施。



出典：株式会社オンワード樫山「衣料品循環の実現に向けた取り組み～オンワード・グリーン・キャンペーン～」(経済産業省「第2回繊維製品における資源循環システム検討会」資料4) (2023)。

天然繊維の資源循環の取組の例

- 倉敷紡績株式会社では、**工場内で発生する落綿や屑綿**といった未利用繊維を活用したリサイクルの他に、**廃棄衣料や繊維製品の端材・裁断くず**を再資源化する「L∞PLUS」を実施。



出典：倉敷紡績株式会社「廃棄衣料を新たな資源にするアップサイクルL∞PLUSの取り組み」(経済産業省「第1回繊維製品における資源循環システム検討会」資料7) (2023)。